



2015年10月26日

各 位

会 社 名 株式会社日立国際電気
 代 表 者 名 執行役社長 篠本 学
 (コード番号 6756 東証第一部)
 問 合 せ 先 経営戦略・コミュニケーション本部長 堀内 啓
 (TEL 03-6734-9401)
 当社の親会社 株式会社日立製作所
 代 表 者 名 代表執行役
 執行役社長兼COO 東原 敏昭
 (コード番号 6501)

第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異 及び剰余金の配当(中間配当)に関するお知らせ

2015年7月29日に公表した第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異について、お知らせいたします。

また、2015年10月26日開催の取締役会において、2015年9月30日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議しましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想値と実績値との差異について

(1) 2016年3月期第2四半期(累計)連結業績予想値と実績値との差異(2015年4月1日～2015年9月30日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	四半期利益	親会社の所有者に 帰属する四半期利益	基本的 1株当たり 四半期利益
前 回 発 表 予 想	百万円 89,000	百万円 7,800	百万円 8,000	百万円 5,800	百万円 5,800	円 銭 56 46
今 回 実 績	90,940	10,127	10,446	7,685	7,712	75 08
増 減 額	1,940	2,327	2,446	1,885	1,912	—
増 減 率	2.2	29.8	30.6	32.5	33.0	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2015年3月期第2四半期)	73,963	5,220	5,339	4,224	4,182	40 70

(2) 差異の理由

エコ・薄膜プロセス部門における半導体メーカーの設備投資が堅調に推移し、売上収益が増加したことから第2四半期累計期間の業績は前回発表予想を上回りました。

通期の業績については、エコ・薄膜プロセス部門において半導体メーカーの設備投資の動向が不透明であることから、業績予想を据え置きました。

2. 剰余金の配当(中間配当)について

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2015年4月27日)	前期実績 (2015年3月期第2四半期末)
基 準 日	2015年9月30日	同左	2014年9月30日
1株当たり配当金	14円00銭	10円00銭	6円00銭
配 当 金 総 額	1,438百万円	—	616百万円
効 力 発 生 日	2015年12月1日	—	2014年12月1日
配 当 原 資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2)理由

当社においては、配当政策を経営の最重要課題の1つとして認識し、株主の皆様に対する安定的な配当の維持を基本としながら、業績、キャッシュ・フローの状況等を勘案して配当金額を決定することを基本方針としております。

当期の中間配当金につきましては、第2四半期累計期間の業績が堅調に推移したことから、上記方針に基づき配当金額を決定いたしました。

これにより、期末配当予想(1株当たり26円)を合わせた年間配当予想は1株当たり40円となります。

(ご参考)配当予想は次のとおりです。

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
配当予想		26円00銭	40円00銭
当期実績	14円00銭		
前期実績 (2015年3月期)	6円00銭	30円00銭	36円00銭

(注)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上